

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市荒井児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人アスイク	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 29,223人(前年度比 116.2%) ・令和4年度 25,145人 ・令和3年度 21,600人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 49,676千円 (41,072千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域懇話会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図っている。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定めている避難訓練等を実施していない月があった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供など、子育て家庭の支援を行っている。今後、地域組織・団体・住民・関係機関との更なる連携、相互交流を図った児童館運営が期待される。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人アスイク）による自己評価》
<p>令和2年の開館以来、感染症対策を実施しながらの運営を続けてまいりましたが、令和5年度はコロナ禍を経て、活動の幅を大きく広げることができました。</p> <p>児童健全育成事業においては、小学6年生から中学生を対象にしたイベントを定期的を実施し、中高生タイムや専有スペースを周知したことで来館者増につながることができました。また、中高生とのかかわりや居場所づくりにおける職員研修を実施し、関係構築を丁寧にはかかったことが定期的な利用につながっていると考えます。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、令和6年度から開始する乳幼児クラブ発足に向けて、乳幼児親子向け自由参加イベントを週1回程度実施し、絵本の読み聞かせや体操、誕生日会などを行いました。子育て支援クラブや近隣こども園とも連携をし、親子ヨガやバルーンアートなど多様な体験を届けることができました。</p> <p>地域交流推進事業では、年に2回実施している地域懇話会に加えて、ハロウィンイベントでは児童が地域の商店や保育園をまわったり、児童館まつりでは地域の高齢者や地域企業の方にお越しいただき出店していただいたりと、これまで以上に地域交流の場を設けることができました。</p> <p>放課後児童健全育成事業（児童クラブ）においては、毎日120名ほどの利用があり、こども企画やこども会議、意見箱の設置など、こどもが主体となる取り組みを数多く実施しました。特に、児童クラブ夏祭りにおいては、有志グループが出店の企画準備、実施、振り返りまでをこどもたち自身で行いました。多くの来場者楽しんで参加してもらうことができ、達成感を味わうことができました。その他、地域の歴史伝承ボランティア・演劇家の方のご協力の元、「あらい劇団」を結成し、地域施設にて公演を実施しました。</p> <p>この他、フードバンクや食料支援を積極的に取り入れており、支援を必要とする児童クラブ登録家庭に食品をお届けしながら見守りをしています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、遊戯室で子どもの発達に合わせた運動遊びを楽しめるよう年齢に合わせて利用時間を設定したり、土曜日にDIY教室や風車を作ろう、クッキングなど親子参加の体験プログラムを定期的を実施した。利用者の視点に合わせた環境作りに努めたことで、利用者の増加につながった。豊富な体験プログラムを通して、親子で触れ合う心地よさや楽しさを感じたり、子ども達の好奇心を刺激しながら達成感や自己肯定感を育んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、乳幼児親子を対象に「あらいひだまりカフェ」を定期的を実施している。毎回アンケートをとり、リミックや手形アートなど保護者のニーズに合わせた多彩な内容を提供している。また、絵本の読み聞かせや体操、誕生会等のミニイベントを週1回程度実施して多くの親子が参加し、情報交換や参加者同士の交流の場になっている。</p> <p>地域交流推進事業においては、「こども夏祭り」や「児童館まつり」を実施し、地域の方々がボランティアとして参加したり地域の企業が協力して出店するなど、地域全体で子どもの育ちを支える環境作りに努めている。また、児童クラブの活動に地域の高校生がボランティアとして参加し、異年齢による様々な活動を通して、社会性や主体性を育んでいる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、スケジュールボードを各所に設置して子どもが遊びや生活を組み立てられるように環境を整えている。また、「子ども会議」で日常の過ごし方や図書の利用について話し合ったり、「子ども企画」としてバドミントン大会やおもちゃ作りなど企画の段階から子どもの意見を反映させる機会を設けるなど、様々な発達過程にある子どもがそれぞれに主体的に運営に関われるように工夫している。</p>	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課